

令和5年度英語教育に関する学校評価の結果について

米原市立柏原小学校

本校は、英語特例校として5・6年生で年間80時間、3・4年生で年間45時間、1・2年生で年間10時間（3～6年は一部朝のモジュール学習の時間を含む）取り組んできました。令和5年度の英語教育に関する学校評価を以下のようにまとめました。

【児童評価】

（設問）英語の授業は楽しいですか。

	R4	R5
よくあてはまる	69%	78%
少しあてはまる	27%	22%
少しあてはまらない	2%	0%
あてはまらない	2%	0%

○おおむね、多くの児童が楽しく授業に取り組んでいる。低学年から発達段階に応じた英語授業の取組ができているため、中学年や高学年においても抵抗感なく、学習に前向きな様子が見られる。

○授業の楽しさの反面、積極的に英語を使いたいという思いがまだ弱いと考える。今後は、さらに英語を使ってコミュニケーションを図る取組に力を入れ、英語で話せることに対して自信をもち、自己肯定感の向上にもつなげていきたい。

（設問）英語の授業では進んで英語を使っていますか。

	R4	R5
よくあてはまる	60%	61%
少しあてはまる	23%	31%
少しあてはまらない	10%	0%
あてはまらない	7%	0%

【保護者評価】

（設問）英語の授業は楽しいと言っている。

	R4	R5
よくあてはまる	44%	52%
少しあてはまる	41%	40%
少しあてはまらない	12%	7%
あてはまらない	2%	1%

○前年と比較すると、向上が見られる。年々保護者にも学校が行っている英語教育が浸透していると感じている。

○児童設問「英語の授業が楽しいですか」では、「よくあてはまる」の回答が7割程度に対して、保護者の回答はそれほど高くない。引き続き本校の取組を浸透させていき、英語教育に生き生きと取り組む児童の様子を発信していく必要がある。